

下水道新聞

発行者
国女学園小学校
北川 巧

はてな？

- ① 下水道っていつ頃できたの？
- ② もし、下水道がなかったら？
- ③ 使った水や雨や雪はどこに行くの？
- ④ 下水道の役割は？

- ② 下水道がなかったら？
 - Ⓐ いやなににおいがしやかやハエが発生する。
 - Ⓑ 大雨が降ると道路、家などが浸水する。
 - Ⓒ トイレは、水が流れなくなり昔のようにくみ取り式になる。
 - Ⓓ 不衛生になり、伝染病がはやる。

① 下水道っていつ頃できたの？

世界で最も古い下水道は4000年前、エジプトで作られた。

今から2600年前、古代ローマ、エジプトの下水道が作られた。

日本でも、縄文時代の約2000年前の、大森の村や、970年前の、平城京のあとで見つかる。

1350年頃、ヨーロッパでは、汚物が道路や公園に投げ捨てられ、ペスト流行。

1760年頃、工業がさかんになり、世界各所で、コレラ大流行。イギリス、ロンドン (1855年) 下水道工事を始める。

神田下水
明治時代の東京府下において、近代下水系図が初めて整備された。

大阪では、豊臣秀吉は町作りにかき入れた、どぼんの跡のように、道路を作り、建て物が背中合わせになっている家のうす間に、下水溝を堀った。(昔、雨の水も、いりの、太閤下水は今でも使われている。

④ 下水道の役割は？

- 街の浸水対策 → 水浸しになるのを防ぐ、美しい海や川を作る。
- 再生水利用 → 水洗トイレ、せせらぎ水路、電車の洗車
- エネルギー利用 → 自動車の燃料、発電、燃料電池
- 方言設備の利用 → 下水処理場の土壌ガス、浄水場のろ膜の中を通るセメント原料
- 汚泥の利用 → 肥料

③ 使った水や雨や雪はどこに行くの？



虹の下水道遊園 (お仕事体験)

大雨が降ると、下水道の水位が上がり、水が溢れ出すことがあります。虹の下水道遊園では、大雨が降ると、下水道の水位が上がり、水が溢れ出すことがあります。虹の下水道遊園では、大雨が降ると、下水道の水位が上がり、水が溢れ出すことがあります。

小平、小丸、あいの下水道遊園

下水道の役割は、水をきれいにするだけでなく、水を再利用することです。再生水は、水洗トイレ、せせらぎ水路、電車の洗車などに使われます。エネルギー利用は、自動車の燃料、発電、燃料電池などに使われます。方言設備の利用は、下水処理場の土壌ガス、浄水場のろ膜の中を通るセメント原料などに使われます。汚泥の利用は、肥料などに使われます。

